

2025年7月7日(月)

地域交通シンポジウム「緊急提言～地域交通制度の革新案～」

和田理事長 挨拶

運輸総合研究所理事長の和田でございます。皆様、本日は大変お疲れ様でございました。閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日のシンポジウムには会場またはオンラインにて多くの方々にご参加を賜りました。ご参加をいただいた皆様に心から御礼を申し上げます。

本日はまず、当研究所の城福特任研究員より緊急提言の報告として、「地域交通は、多くの地域で民間によるビジネス頼りでは限界を迎えており、協調・共創の考え方により需要と供給の双方の確保が必要である」ということ、そして「自治体がいわば『公共財』として責任を持って確保すべき分野となっている」ことなどのご説明がございました。

また、パネルディスカッションでは、モデレーターを宇都宮先生にお願いをし、仮井様、小嶋様、松本順様、松本義人様と城福特任研究員にご登壇を賜りました。この中では、地域交通について、どうやってその供給を確保するのか、そしてそのための制度や財源の問題なども含めまして、活発な議論を行っていただきました。ご登壇いただいた皆様には、地域交通制度の革新案について、貴重な情報のご提供、そして熱心なご議論をいただき、誠にありがとうございました。

本日のご議論が、バスやタクシー、デマンド交通など、皆様ご自身がお住まいになっている地域の移動手段の確保についてお考えになる上で、お役に立つことができれば幸いです。

最後になりますが、当研究所の運営に多大なご理解ご協力をいただいております日本財団にも改めて御礼を申し上げます。

この後、セミナーなど今後の予定についてお知らせがあります。
またアンケートへのご協力もよろしくお願いを申し上げます。
さらに、当研究所の宿利会長と軸丸真二様の共著である、『地域公共交通政策論』と『国際交通論政策・産業とその展望』も出口で販売をいたしますので、ぜひお買い求めください。
本日は最後までご参加をいただき、誠にありがとうございました。